

【参考①】

観光需要の時空間分散を目的とする実証実験

■ アプリのイメージ



※「スイスイ旅山梨版」アプリ操作画面 ※画面はイメージです。実際とは異なる場合があります。

■ 本実証実験が目指す課題解決

- NEXCO 中日本が「中央道 渋滞減らし隊」※1 で提供する AI による渋滞予測情報を「スイスイ旅山梨版」アプリに連動させ、旅行者の帰宅時間分散を図り交通集中渋滞を軽減しつつ、現地滞在時間を拡大させる。
- やまなし観光推進機構、ハケ岳ツーリズムマネジメント、富士急行株式会社と連携して施設の魅力に関する情報を「スイスイ旅山梨版」アプリにインプットし、渋滞による損失時間を「消費時間」に転換するとともに、「予期せぬ立ち寄り行動」による発見型観光を促進してリピーター獲得を図る。
- 旅行者の待機時間を回遊行動へと促すため、情報提供のみならず、アプリを用いて施設の割引やポイント制など(ゲーミフィケーション)を導入し、滞在・旅行消費の促進を図る。

